

オフライン寸法測定装置

概要

- 【用途】 オフラインでねじバーの外径を自動計測します。
- 【目的】 切断されたサンプル形状を高精度センサーにて計測し、判定値と比較し合否判定を行います。
- 【方式】 投影寸法測定方式(シャドー方式)
- 【特徴】 (1)高精度センサーと高精度スライダの採用により、径方向 $\pm 50\mu\text{m}$ で計測可能です。
(2)ねじバー等の特殊な形状の材料について、外径・内径・フシ高さ・ネジピッチ等の計測が可能です。
(3)スライダー及びセンサー部は、工場環境での使用を考慮し防塵対策を行っております。
(4)計測結果をデータベースサーバに保存可能です。(オプション)

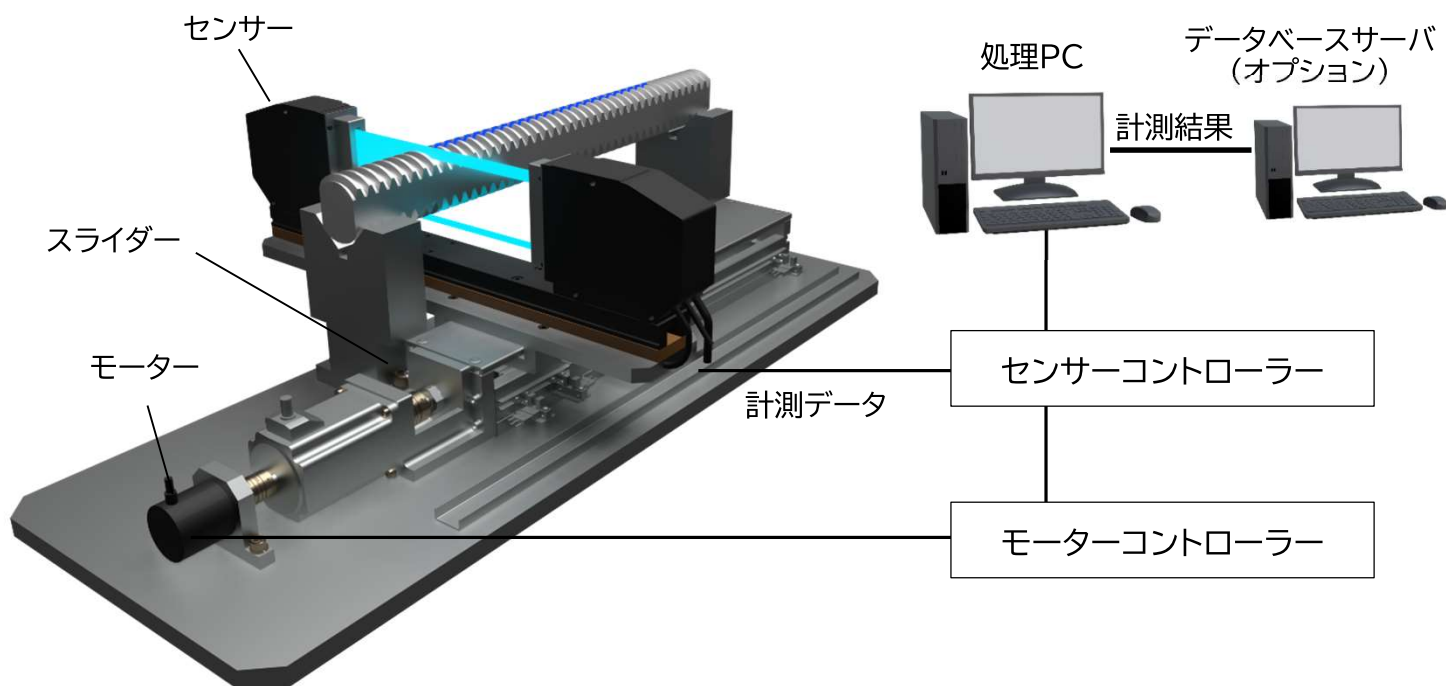
導入メリット

- 【品質安定化】 手計測による個人差を無くし、高精度で安定した計測が可能となります。
- 【品質管理】 計測結果は、データベースに保存することで、トレーサビリティの向上が図れます。

当社の強み

- 【カスタマイズ】 測定対象のサイズ、長さに合わせて装置設計を行います。
- 【自動化技術】 サンプル搬送、装置セッティング、計測、サンプル搬出までの一連動作の自動化も可能です。

システム構成例



各種仕様

仕様項目	概要	
対象材	ねじ節・竹節・丸鋼	
サイズ	D10 ~ D56 (最大Φ57)	
サンプル長さ	500mm(±5mm)	
長手方向の計測移動	モータ駆動方式	
サンプルの回転	手動方式	
計測精度	径方向	±50μm
	長手方向	±100μm (校正ピース及び確認ピースにて)

計測画面例



お問い合わせ

日鉄テックスエンジ株式会社 メカトロクスイノベーション事業部

■営業グループ

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル

■計測検査ソリューション部

〒050-0087 北海道室蘭市仲町1 2番地

TEL: 0143-47-2690

<https://www.tex.nipponsteel.com>